

## 令和2年度 独立行政法人統計センター契約監視委員会議事概要

開催日時 及び場所	令和2年6月26日(金)～7月8日(水) 持ち回り会議により開催(場所は各委員と調整)
メンバー (敬称略)	委員長 藤谷 護人 弁護士法人エルティ総合法律事務所 所長(弁護士) 委員 小笠原 直 監査法人アヴァンティア法人代表 代表社員(公認会計士) 委員 文野 清正 公認会計士・税理士 委員 内野 恵美 独立行政法人統計センター監事 委員 山中 浩子 独立行政法人統計センター監事
議事次第	1. 令和元年度契約の点検・見直しの視点 2. 議事 (1) 令和元年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画自己評価について (2) 令和2年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画について (3) 契約監視委員会で審議が必要な契約案件 ① 競争性のない新たな随意契約案件 ② 平成30年度・令和元年度2ヵ年度連続の一者応札・応募案件
議事概要	1. 令和元年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画の自己評価 ・令和元年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画の自己評価(案)について持ち回り会議により審議を行った結果、一部修正を行い、修正案のとおり承認を得た。 2. 令和2年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画 ・令和2年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画(案)について持ち回り会議により審議を行った結果、一部修正を行い、修正案のとおり承認を得た。 3. 契約監視委員会で審議が必要な契約案件 ・競争性のない新たな随意契約案件(3件)について審議を行い、意見等は出されなかった。 ・平成30年度・令和元年度2ヵ年度連続の一者応札・応募案件について審議を行い、改善に係る意見等は出されなかった。

【議事1】令和元年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画の自己評価

質問・意見	回答
<p>資料2 2 重点的に取り組む分野 (1)合理的な調達への改善において、「経費の削減を図ることができた。」とあるが、どのようなかたちで経費が削減されたのか。</p>	<p>実際に見直しによる改善を行った一般競争入札の実施にあたり、入札参加資格となるトライアル(テスト)1回目で不合格となった者が、新たに設けた2回目のトライアル実施で合格し、入札に参加することができるようになり、さらに当該者が落札者となったことから、見直しを行わなかった場合と比較すると落札金額が安価となり、経費の削減に繋がった。</p>
<p>2 重点的に取り組む分野 (2)新規参入業者の拡大において、「新規参入業者の拡大を図ることができた。」とあるが、新規契約業者との契約は業務履行等において問題は発生していないのか。</p>	<p>少額随意契約の調達案件については、物品の購入等の業務履行時に問題が発生しにくい案件を中心に、新規参入業者へ見積もり依頼を行っている。</p> <p>また、競争入札の調達案件については、入札説明会において、担当者から業務内容に関する説明を行い、契約締結後は、履行完了まで問題が発生することが無いよう、請負業者に対する監督業務を適切に実施している。</p>
<p>2 重点的に取り組む分野 (2)新規参入業者の拡大の「少額随意契約の調達事務において...新たに7者と契約を締結することができた。」という結果については、調達等合理化計画でスポットが当たる機会の少ない少額随意契約に関する取り組みであり、良い結果が生まれているので、引き続き取り組んでもらいたい。</p>	<p>引き続き少額随意契約の新規参入業者の拡大を図りつつ、更に競争入札にも参加してもらえよう取り組んでいく。</p>
<p>3 調達に関するガバナンスの徹底 (1)調達担当者に対する研修の実施とは、不祥事案の事例など、過去の新聞記事等を用いて行っているのか。</p>	<p>統計センターの調達案件において、問題等が発生する可能性のある不祥事案としては、納期遅延等が想定されることから、監督及び検査職員の業務の役割や、問題発生時の責任に関する内容を中心に不祥事案の例も含め説明を行っている。</p>

**【議事2】令和2年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画**

質問・意見	回答
<p>資料3 2 重点的に取り組む分野 (1)合理的な調達への改善の内容について、従前から実施してきた取り組みだけでは無く、改めて見直しを図るような取り組みについても記載したほうが良い。</p>	<p>公正性や透明性の観点から、十分な競争性が確保されているか各調達案件の仕様書について精査することにより、合理的な調達への改善を図っていく旨の記載に修正する。</p>
<p>2 重点的に取り組む分野については、毎年様々な取り組みを実施してきており、合理的な調達が行われていると思われる。重点的に取り組む分野の選定にあたっては、過去の計画において選定した取り組みに立ち返り、今後の計画で改めて選定することを検討しても良いのではないか。</p>	<p>令和3年度以降の計画策定の際には、過去の計画において選定した分野を改めて確認した上で検討する。</p>
<p>3 調達に関するガバナンスの徹底について、取り組み内容について分類を行い、どのような視点でガバナンスの徹底を実施するのかが分かるような記載ができないか。</p>	<p>取り組み内容について、分類ごとに記載順を並び替え、ガバナンスの徹底における視点を項目として追記する。</p>

**【議事3】契約監視委員会で審議が必要な契約案件**

質問・意見	回答
<p>資料5-1 2カ年度連続して一者応札となった「統計情報データベースのデータ拡充」について、なぜ他者の競争入札への参加がなかったのか。</p> <p>各調達において一括で競争入札等を行うことにより、一般的にスケールメリットが得られることが想定されるが、デメリットとして競争性が失われる可能性が考えられる。このため、調達案件によっては、分割することで競争性が確保され、より合理的な調達を図ることが出来るのではないか。</p>	<p>業務の規模が大きく、単独で履行可能な業者がないのが現状であり、他者においては共同企業体を結成することにより、参入出来る可能性があると思われるが、そのような業者の参加はなかった。</p> <p>一者応札となっている案件など、一括調達による経済性の効果と、業務を分割することによって競争性の確保につながる効果を勘案し、調達方法等について検討する。</p>